

# いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 9 生育は早まる見込み！マメコバチのマユをしっかり洗おう！

## マメコバチは、結実確保の大切な功労者！しっかり洗って増やそう！

- ・近年、マメコバチは**増殖不良**！「ほったらかしにすると**減少**の一途」
- ・結実が安定している園地は、「**ミツバチ**」と「**マメコバチ**」の両方を上手に使っている  
【ミツバチ】移動距離が長く、広範囲を訪花 【マメコバチ】巣箱周りを中心に訪花
- ・マメコバチの飼養管理に加え、計画的にミツバチの導入を行い、結実を安定させよう！

### 1 ヨシ巢の確認

○古いヨシ巢は**天敵に寄生されている**場合がある



コナダニ類

カツオブシムシ

← 古いヨシ巢を放置すると・・・

年々、**天敵**が増加し、  
マメコバチが**減少**する！

○定期的に**ヨシ巢を更新**し、天敵から守ろう！



入口がふさがっていても中で天敵が蔓延

← 古いヨシ巢を  
巣箱に放置  
していませんか？

- ・**4年以上**の古いヨシ巢内のマユは、**ほぼ全滅**
- ・古いヨシは、**天敵多発**の要因  
↓  
**3年を目安にヨシ巢を更新**する



古いヨシ巢の内部  
(コナダニ類による被害大)

### 2 マユ洗浄の実施

○コナダニ類等の天敵被害を防ぐには、**マユ洗浄**が効果的

(1) 実施時期

**1 1月～3月上旬**

(注) 遅くとも3月上旬までに  
マユ洗浄を終了する！

(2) 準備するもの

接木ナイフ、ステンレスボウル、ザル(2mm目程度、ステンレス製)、  
冷水(水場)、網しゃくし、ハケ、育苗箱、新聞紙、紙箱(マユ保管用)

(3) 注意点

- ・**2～3年以上経過**したヨシ巢を中心に行う
- ・**気温が低い**場所で、**冷水**を用いて行う
- ・マユをつぶさないように扱う
- ・切開時に出るゴミは**適切に処分**する



洗浄前



洗浄後

(裏面(2枚目)に続く)

## (4) 作業手順

### ① 巣筒を切開する



・巣筒の端に接木ナイフを当て、上に持ち上げるように切開する

### ② マユを取り出す



・マユをつぶさないよう育苗箱に取り出す  
・切開後のヨシは適切に処分する

### ③ マユを冷水に浸す



・ステンレスボウルの中にマユを入れ、水を注ぎ、マユの表面全体が濡れるように浸し、かき混ぜるようにして汚れを落とす（約1分）

### ④ マユを洗浄する



・ザルをステンレスボウルの上にセットし、網しゃくしでマユをザルに移し、ザルに冷水を入れたらハケでマユをザルに優しくこすり付け、表面の汚れを落とす（約3分）

※上記の手順を3回程度繰り返す  
網しゃくしとザルは、天敵がうつらないように洗浄・交換しながら使用する

### ⑤ マユの乾燥・保管



・新聞紙の上にマユを広げ、冷暗所で約2日間乾燥させる（※乾燥中、ネズミの食害に注意）  
・乾燥したマユを紙箱に入れ、冷蔵庫等の涼しい場所で保管

マユ洗浄を定期的に行い、  
マメコバチを増やし、  
**結実確保**に努めましょう！



マメコバチ

## 3 洗浄マユの設置

### (1) 設置時期

「佐藤錦」の発芽 10 日後頃  
(3 月末～4 月上旬)



↑ 設置時期の花芽

### (2) その他

・さくらんぼの開花とマメコバチの訪花を合わせるため、「洗浄マユ」と同様に、巣箱の「ヨシ巣」を冷蔵庫等の涼しい場所で保管してもよい

保管時の紙箱に鉛筆の太さ程度の穴を複数あけて巣箱に設置↓



- ◆ 結実安定のためには、マメコバチに加え、**ミツバチの使用も効果的**です！
- ◆ ミツバチは「**リース型**」に加え、自園地の開花状況に合わせて導入できる「**買取型**」もあります。導入には時間がかかる場合がありますので、**早めに準備しましょう**！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL 023-621-8291

TEL 0237-86-8215

TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)